

第3回 情報システム担当者向け研修会

事例に学ぶ 資産管理システムの活用

～「働き方改革」で情報システム部が頼まれることとは?～

昨年、働き方改革関連法が公布され、労働安全衛生法が改正されました。これにより労働時間の把握が義務化され、タイムカードやPC使用時間記録等の客観的な記録が必要となりました。

またタイムカードの打刻内容と実労働時間(PC使用時間)との差異について確認を求められることもあり、勤怠担当者の負担にならない管理方法が情報システム部門に求められています。

日時

2019年11月1日(金) 15:00～17:30

会場

タワー111 21F 一般会議室3(富山市牛島新町5-5)

定員

20名(先着順)

受講料

無料

プログラム

1. 講演「『働き方改革』で情報システム部が会社から頼まれることとは？」

S k y 株式会社 ICTソリューション事業部 システムサポート部

インストラクター 山岡 佑衣 氏

2. 質疑応答、意見交換会(※自己紹介あり、名刺をご持参ください)

対象者

情報システム担当者、及びそれに類する担当者

懇親会

会場 ちゃぼん (ゴルフアートとやま 1F)

時間 18:00～(2時間程度)

会費 3,500円(予定)

主催

NPO法人ITコーディネータ富山

後援

株式会社富山県総合情報センター

一般社団法人富山県経営者協会

申込方法

ITコーディネータ富山Webサイトより

<https://itc-toyama.org/?p=2261>



◆情シス担当者向け研修会とは◆

昨今、情報システム部門に対する要求は質・量ともに増大しており、担当者の負担は増える一方です。さらに技術の進化も早く、最新技術に追従するだけでも大変です。

このような状況においては効率よく役立つ情報を得ることが重要で、他社の担当者との情報交換・情報共有はその大きな助けとなります。

そこで情報システム担当者向けの研修会と懇親会を企画しましたので、ぜひご参加ください。